

外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月29日と8月5日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の松本のり子議員、林まさひと議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月29日 経済観光局

株式会社神戸商工貿易センター

テナントの方々の声聞き 早急に協力金の要請を

——— 松本のり子議員

株式会社神戸商工貿易センターは、神戸商工貿易センタービルと神戸サンボホール・神戸ファッションマートの管理運営をおこなっています。神戸商工貿易センターは、六甲アイランドの活性化のため、ファッションマートの入り口にキッチンカーを誘致する計画ですが、テナントの皆さんに十分な説明をしていません。松本議員は、テナントの皆さんの声

を聞き納得しないうちは誘致をしないよう質しました。また、兵庫県の大規模集客施設対象の休業等協力金が1か月以上経ってもまだ入っていないことを指摘し、事業者の方に早く行き渡るようファッションマートを運営する会社として県に要請するよう求めました。

答弁ダイジェスト

総務部長：申請をして返事を待っている。会社として県に要望する予定はない。

松本議員：テナントの皆さんは毎日資金繰りに悩みながら生活している。皆さんの身になって進言していただきたい。

豊永副局長：できるだけ早くと常々神戸市からも県に言っている。改めて大規



模施設だけではなく飲食店の協力金についてもできるだけ早く事業者の皆さんの手に行き渡るように県に要望したいと考えている。

公益財団法人 神戸市産業振興財団

神戸経済成長のため 市内中小企業への支援に予算を

——— 林まさひと議員
松本のり子議員

公益財団法人神戸市産業振興財団は、中小企業などの支援事業をはじめ、神戸市産業振興センターの運営や、ケミカルシューズ産業販路開拓支援事業を担っています。林議員は、神戸経済を担う起業家の育成・支援をはかるための神戸ハーバーオフィス提供について、成長し巣立

った企業へのフォローについて質疑しました。松本議員は、財団が毎年500万円支援している航空機産業参入事業について、コロナ禍で大手企業である三菱産業や川崎重工が航空機産業の凍結や転換の道を選択する中、財団も先を見据えて立ち止まるべきだと質しました。

答弁ダイジェスト

林議員：年に200社程度を専門の担当をつけて調査しフォローしているというが、(ハーバーオフィスから巣立った企業への調査やフォローを担当する)スタッフを増やせないのか。

常務理事：市の財政状況が非常に厳しい。

林議員：神戸市内の中小企業を成長させていくことは経済の活性化にもつながり雇用も生み、市税収入にもつながる。お金がないのであれば、強く要望して予算をつけるべきだ。

答弁ダイジェスト

常務理事：航空機事業が回復した時のために技術を温存し生きながらえていこうと、さまざまな取り組みをしている。航空機産業は一度サプライチェーンに入

ると受注がかなり長期安定的に見込める。

松本議員：今はリモートで人と人がつながるテクノロジーが定着し、移動しなくてもよい時代に入ってきていると言われる中、本当に航空機産業が伸びていくのか。三菱や川重が事業の凍結などしている。立ち止まる必要があるのではないか。

常務理事：2014年度以降の航空機関連の売上高は2019年度には3倍弱まで膨れ上がっている。引き続き成長産業として支援したい。

松本議員：コロナ禍で先の見えない厳しさの中で新産業より既存中小企業を守る対策をとるべきだ。

その他の質問

●新型コロナウイルス感染症関連の融資について

●神戸セレクションについて

——— 松本のり子議員

●「神戸起業操練所」について

——— 林まさひと議員

一般財団法人 神戸観光局

●安全を最優先にした「神戸観光モデル」の実施を



民間任せにせず 市の責任で改修し再開を!

——— 松本のり子議員

一般財団法人神戸農政公社は、市民福祉の向上と市域の農漁業や里山・農村地域の発展を目的として、六甲山牧場や海釣り公園、フルーツフラワーパークなどの運営をおこなっています。須磨海釣り公園は、2018年8月の台風で受けた被害を、全体で35億円かかるとの理由で放置したままです。松本議員は、民間任せにし、行政責任を放棄する市の姿勢を質し、市民に愛されている須磨海釣り公園

の改修と再開を市の責任ですすめるよう求めました。

答弁ダイジェスト

安岡農政担当局長：当初は被害を受けた箇所だけ修理するつもりだったが、老朽化もすすみ安全性の確保が難しいと判断し、民間事業者に投資意欲や事業性の確認をおこなった。

松本議員：この海釣り公園は海上を利用した低廉で市民ニーズに合った施設だ。全部改修すると莫大なお金がかかるが、渡橋だけでも改修し利用することはできないのか。

安岡農政担当局長：少しずつ直すやり方でも概算で約25億円がかかる。民間事業者に聞き取りをおこなったが、施設改

修への投資をおこなう意向は確認できなかった。

松本議員：他人任せ、民間頼りではなく、市が主体的にできないのか。

安岡農政担当局長：平磯にも海釣り公園はある。引き続き事業者を探しながら検討する。

松本議員：全国で初めて神戸市が作った素晴らしい施設だ。早急に再開方法を考えるべきだ。

その他の質問

- 神戸ワイン事業について
——— 松本のり子議員
- 但馬牛の飼育事業について
——— 林まさひと議員

8月5日 都市局

雲井通5丁目再開発株式会社

整備本部長 「終息すれば元に戻る」

コロナ軽視した市民置き去りの再開発やめよ!

——— 林まさひと議員

雲井通5丁目再開発株式会社は、2018年3月に策定された「新たな中長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」に基づいて、「再開発会社施工」による市街地再開発

事業の実施を目指して設立しました。現在サンパルや勤労会館・中央区役所のある雲井通5丁目にバスターミナルや音楽ホール・高級ホテルが入る高層ツインタワーを神戸市も約520億円を負担して建設する計画をすすめています。林議員は、コロナ禍でJR西日本が三ノ宮駅前再開発の見直しを発表したことを指摘し、雲井通5丁目もコロナの影響を見据え再検討すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

中原都心再整備本部長：いずれコロナが終息すれば元に戻る。5・6年先の完

成を前提にし、バスターミナルの需要も十分だろうと認識している。

林議員：国の直轄事業であっても、県も市も税金から負担している。今本当にこのツインタワーの建設が市民のためになるのか、見直すべきだ。

鈴木局長：社会情勢の変化に合わせて見直すべきは見直す、ノーチェックではなくチェックをしながら、必要であれば軌道修正もする是々非々の立場ですすめていきたいと思っている。

一般財団法人 神戸住まいまちづくり公社

若者に選ばれるまち目指すなら 子育て世帯に支援拡充を

——— 林まさひと議員

一般財団法人神戸住まいまちづくり公社は、賃貸住宅や賃貸オフィス事業をはじめ、ゴルフ場の運営事業や三宮周辺地区再整備事業などを担っています。賃貸住宅運営事業では、若者世代への住まいの提供や新婚や子育て世帯への家賃支援制度をおこなっています。林議員は、若者世代に神戸に住み続けてもらうために、コロナ禍で大変な時こそさらなる支援制度を実施すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

専務理事：今コロナの関係では何も支援は考えていない。

林議員：働いている方は（コロナの）影響がある。子どもが中学を卒業するまでの家賃支援について、さらに期間延長などの手立ては考えられないのか。

専務理事：今後の検討課題としていきたい。

その他の質問

- ゴルフ場運営について
——— 松本のり子議員
- インキュベーションオフィス運営について
- 三宮周辺地区再整備について
- すまいるネット事業について
——— 林まさひと議員

8月31日
より

9月議会が はじまります

8月

31日(火)
本会議 (議案質疑 未定)

9月

1日(水)・2日(木)
常任委員会

6日(月)・7日(火)
本会議 (代表質疑)

8日(水)～17日(金)
決算特別委員会 (局別審査)

9月

24日(金)
決算特別委員会総括質疑

28日(火)
意見表明・意見決定

30日(木)
本会議 (議案質疑 未定)

10月

1日(金)・4日(月)
常任委員会

7日(木)
本会議 (討論)

8日(金)
本会議 (一般質問)

神戸市のホームページからご覧いただけます

森本真議員・今井まさこ議員が代表質疑に登壇します

日時 9月7日(火)10時頃から 場所 市議会本会議場

時間が多少ずれこむ場合がありますので、余裕をもってご覧ください

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください。

